

令和 5年度予算見積調書

課室名：保健医療政策課
 担当名：大学附属病院担当
 内線：3228

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S26	大学附属病院等整備調整費			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	大学附属病院等整備調整費	
事業期間	平成24年度～	根拠法令	医療法			針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3
						分野施策	0304 医師・看護師確保対策の推進	SDGsターゲット	3-2, 3-4, 3-8
<p>1 事業の概要</p> <p>本県の喫緊の課題である医師の確保及び育成に対応するため、大学附属病院及び医学系大学院などの整備に向けた調整・支援等を行う。</p> <p>大学附属病院等整備調整費 5,281千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 本県の喫緊の課題である医師の確保及び育成に対応するため、大学附属病院及び医学系大学院などの整備に向けた調整等を行う。</p> <p>(2) 事業計画 大学附属病院等整備調整費</p> <p>ア 医療機能に関する調整 既存の医療機関との役割分担、連携方策などについて、さいたま市地域医療構想調整会議などの場を活用しながら、地元医師会、拠点病院などと調整を行う。</p> <p>イ 医師派遣に関する調整 医師確保が困難な地域などへの医師派遣について、県を仲介役とし、医師派遣を希望する各病院の病院長と大学の医学部長との間で協議を行う。</p> <p>ウ 財政支援に関する調整 大学附属病院等の整備に係る財政支援について、他の自治体の事例などを参考にしながら検討を行う。</p> <p>エ 整備予定地の維持管理 大学附属病院等の整備予定地について、着工までの当面の間、県が維持管理等をする必要があることから、隣接地を所有するさいたま市とも調整しながら、除草等の適切な維持管理を実施する。</p> <p>(3) 事業効果 大学附属病院を整備することにより、医師をはじめとする医療スタッフの確保など、本県の医療提供体制を強化できる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 大学附属病院とのパートナーシップにより、医師をはじめとする医療スタッフを確保し、それらの人材を活かす。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 @9,500千円×1.5名=14,250千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	5,281							5,281	△555
前年額	5,836							5,836	

事業内訳書

事業名	大学附属病院等整備調整費		
単位事業名	大学附属病院等整備調整費	予算額	5,281千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	132	△37	大学附属病院等の整備に係る調整等旅費 2,000円×1.1×2人×30回=132,000円
需用費	1,333	△354	鋼板・除草シートの修繕等一式 1,312,000円
委託料	3,816	△164	土地維持管理費等一式 3,816,000円
合計	5,281	△555	